

# 愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2012年19週 (5月2週5/7~5/13)

2012年4月報

愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: [eiseiken@pref.aichi.lg.jp](mailto:eiseiken@pref.aichi.lg.jp)

連絡先: 052-910-5619(企画情報部)

## 今週の内容

### トピックス

インフルエンザ、集団かぜの発生について、流行性耳下腺炎、水痘、後天性免疫不全症候群

### 定点医療機関コメント

インフルエンザ、ロタウイルス感染症、水痘、感染性胃腸炎、マイコプラズマ、溶血性レンサ球菌等

全数把握感染症発生状況 ( )内は件数。

結核(18)、細菌性赤痢(2)、腸管出血性大腸菌感染症(1)、レジオネラ症(1)、アメーバ赤痢(1)、クロイツフェルト・ヤコブ病(1)、後天性免疫不全症候群(9)

2012年4月報

定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

## トピックス

インフルエンザ【2012年4月11日警報解除】

14週にすべての保健所(名古屋市は16保健所合計)で警報継続の指標(定点当たり報告数10.0)を下回ったことから、愛知県は4月11日にインフルエンザ警報を解除しました。

19週の定点当たり報告数は0.7、18週264人、19週131人です。2011/2012シーズンに集団かぜ及び病原体定点から寄せられた検体より、A香港型(AH3)及びB型(ビクトリア系統、山形系統)ウイルスが検出されました。

### 【参考ページ】

2011/12シーズンインフルエンザウイルス分離・検出状況

[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri11\\_12.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri11_12.html)

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ\\_map\\_new.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ_map_new.html)

集団かぜの発生について(健康対策課発表)

	発表日	管轄保健所	ネットあいち URL
第77報	5月15日	豊川	<a href="http://www.pref.aichi.jp/0000051223.html">http://www.pref.aichi.jp/0000051223.html</a>

流行性耳下腺炎(図1)

19週の定点当たり報告数は0.64、18週63人、19週117人です。

水痘(図2)

19週の定点当たり報告数は1.62、18週149人、19週295人です。

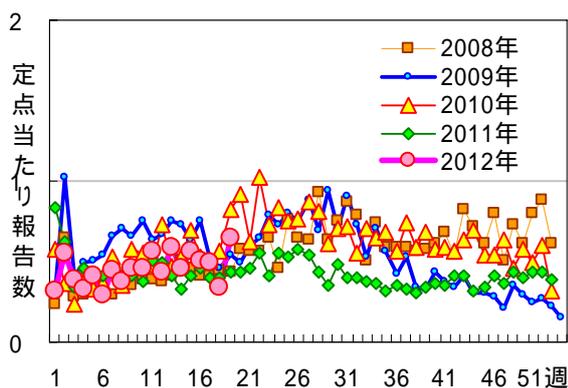


図1 流行性耳下腺炎

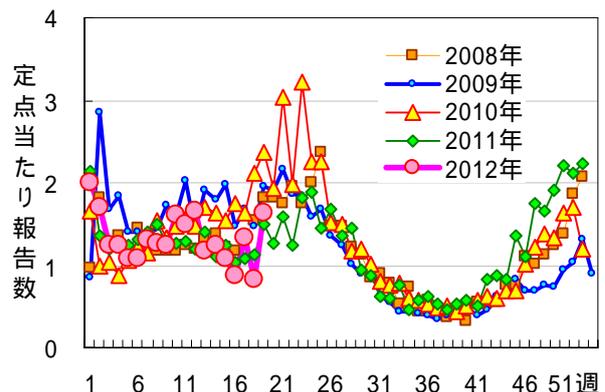


図2 水痘

後天性免疫不全症候群(p6,4月報参照)

愛知県の報告数が最高であった2010年は総計138件、病型別では無症候性キャリアが73件、AIDSが56件、その他が9件でした。2012年4月までの報告数(2012年1~17週診断分)は38件、病型別では無症候性キャリアが24件、AIDSが14件でした。

6月1日から6月7日は「エイズ検査普及週間」です。

### 【参考ページ】

平成24年度「エイズ検査普及週間」について

<http://www.pref.aichi.jp/0000015286.html>

病原体検出情報 - 平成 24 年疾患別ウイルス検出速報 - 5月15日現在

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	*インフルエンザ	**麻疹
患者数	113	2		3	14	4	7	190	49(21)
FluAH3								128	
FluB								30	
MeV									20(6)
RUBV									2
RotaA	5								
RotaA G1	1								
RotaA G2	4								
RotaA G3	9								
NV-G	1								
NV-G	54								
Ad-1				1					
Ad-2	3								
Ad-5	1			1					
Ad-41	4								
B19V									1(1)
検査中	36	2		1	3	2	1	6	10(7)
陰性	16				11	2	6	26	16(7)

\*\*麻疹の( )内は病原体定点医療機関以外からの患者数の別掲。

略：ウイルス名(他の略名)

Ad：アデノウイルス、B19V：ヒトパルボウイルス B19、FluAH3：A 香港型インフルエンザウイルス、FluB：B 型インフルエンザウイルス、MeV：麻疹ウイルス、NV：ノロウイルス、Rota A：A 群ロタウイルス、RUBV：風疹ウイルス

関連ページ 1)「疾患別ウイルス検出情報」<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

2)「2011/12 シーズンインフルエンザウイルス分離・検出状況」

[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri11\\_12.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri11_12.html)

3)「麻疹患者調査事業における麻疹患者発生報告状況」

[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl\\_2012.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl_2012.html)

4)「麻疹ウイルス分離・検出速報」(国立感染症研究所感染症情報センター)

<http://idsc.nih.go.jp/iasr/measles.html>

定点医療機関コメント(名古屋市除く)

尾張西部地区

感染性腸炎が目立ちました。

2か月、7か月、2歳にロタ陽性

【一宮市 あさのこどもクリニック】

38歳女 マイコプラズマ感染症

16歳男 インフルエンザ B 型

【一宮市 後藤小児科医院】

アデノウイルス感染症 1名

マイコプラズマ感染症 4名

ロタウイルス感染症 1名

【一宮市 ささい小児科】

インフルエンザはすべて B 型

【一宮市 水野医院】

ウイルス性より細菌性胃腸炎が増えました。

【犬山市 武内医院】

インフルエンザ 1名(B 型)

水痘が増加しています。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

水痘、ムンプス大流行しています。

ロタも多発

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

15歳女 サルモネラ腸炎

姉、父、祖母も同時に腸炎発生

感染性腸炎が急増しています。

【北名古屋市 田中クリニック】

溶連菌、水痘、突発性発しん散発

36歳女 インフルエンザ B

【清須市 丹羽医院】

インフルエンザ B 型 4名

【津島市 医療法人参育会加藤医院】

インフルエンザ B 型 1名

【弥富市 医療法人すずきこどもクリニック】

尾張東部地区

インフルエンザはまだみられます。(B型 2名)  
今週は溶連菌感染症が増加しました。

【尾張旭市 医療法人 誠和会佐伯小児科医院】  
溶連菌が増加しています。

【豊明市 こども元気クリニック】  
胃腸炎続いています。

【春日井市 春日井市民病院】  
B型インフルエンザ 1例  
RSV感染症増加(肺炎合併あり)  
リンゴ病少々

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

ロタウイルス胃腸炎がまだ多くみられます。  
マイコプラズマ肺炎も続いています。

【小牧市 志水こどもクリニック】  
感染性胃腸炎流行しています。

【小牧市 小牧市民病院】  
インフルエンザB型 1名  
9歳女 病原大腸菌O18(+ )VT(- )、  
カンピロバクター(+)  
細菌性腸炎が増えてきているようです。

【大府市 まえはらこどもクリニック】  
A群溶連菌感染症が多かったです。

【東海市 もしもしこどもクリニック】

西三河地区

イムノエース アデノ(+ ) 10か月男、5歳男  
StrepA(+ ) 8歳女、7歳男  
マイコプラズマ肺炎 10歳女

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】  
マイコプラズマ 5名

【豊田市 すくすくこどもクリニック】  
インフルエンザB型 7名

【豊田市 厚生連足助病院】  
マイコプラズマ肺炎 6歳女 3歳男 13歳女  
病原性大腸菌O86 1歳男  
B型インフルエンザ 8歳女

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】  
マイコプラズマ肺炎 4歳女 2名 7歳女  
病原性大腸菌 混合1(+ )O1(+ ) 3歳女  
マイコプラズマ肺炎が目立ちます。

【岡崎市 花田こどもクリニック】

病原性大腸菌O1(+ )VT(- ) 5歳女、4歳女  
病原性大腸菌O18(+ )VT(- ) 3歳女

【岡崎市 にいのみ小児科】  
水痘目立ちます。

【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】  
インフルエンザB 1名

【知立市 宮谷クリニック】  
インフルエンザA型 1件でした。

【西尾市 西尾市民病院】  
感染性胃腸炎依然として目立ちます。

B型インフルエンザ 2名  
【西尾市 山岸クリニック】

カンピロバクター 9歳男  
【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

12歳女 カンピロバクター腸炎  
8歳女 カンピロバクター腸炎

【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

インフルエンザA型 1名、B型 10名、  
A B同時陽性 2名 計13名

【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2012年5月16日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki jun110905.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2012年19週報告数			2012年累計(1～19週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	7	1	3	246	63	64
豊田市				16	2	8
豊橋市				30	5	10
岡崎市				11	6	2
一宮	6	2		44	11	7
瀬戸				41	8	15
半田				22	7	10
春日井				22	8	2
豊川				27	6	11
津島	2			26	5	4
西尾				16	3	5
江南	1		1	28	7	8
新城				2	2	
知多	1	1		30	9	10
師勝				12	8	2
衣浦東部	1			29	9	5
合計	18	4	4	602	159	163

細菌性赤痢（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	推定感染地域
1	名古屋市	28歳	男	5/9	5/9	5/10	国内
2	津島	63歳	男	5/3	5/8	5/8	国内

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	新城	21歳	男	5/4	5/7	5/11	O157、VT1(+)/VT2(+)

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	衣浦東部	81歳	男	肺炎型	国内

アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	55歳	男	腸管アメーバ症	経口感染	パプアニューギニア

クロイツフェルト・ヤコブ病（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型
1	知多	79歳	男	古典型

後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	46歳	女	A I D S	性的接触	国内
2	名古屋市	25歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
3	名古屋市	38歳	男	A I D S	性的接触	国内
4	名古屋市	58歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
5	名古屋市	26歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
6	名古屋市	46歳	男	A I D S	性的接触	国内
7	名古屋市	29歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
8	名古屋市	31歳	男	A I D S	性的接触	国内
9	名古屋市	32歳	女	無症候性キャリア	性的接触	ケニア

## 4月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況 [ ( )は無症状病原体保有者再掲。]

2011～2012年に報告のあった 疾病名及び病型 ( )内は全数把握対象疾病数		2012年4月			2012年 累計 <愛知県全体>	2011年 総計 <愛知県全体>
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体		
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (5)	結核	69 (20)	62 (18)	131 (38)	566 (156)	2,088 (557)
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	14 (0)
	腸管出血性大腸菌感染症	28 (22)	1 (0)	29 (22)	32 (23)	121 (33)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
四類 (42)	E型肝炎	0	0	0	0	2
	A型肝炎	1	0	1	4	4
	チクングニア熱	0	0	0	0	2
	つつが虫病	0	0	0	0	3
	デング熱	1	1	2	3	9
	日本紅斑熱	0	0	0	0	3
	ポツリヌス症	0	0	0	0	1
	マラリア	0	0	0	1	6
	レジオネラ症	0	0	0	4	41
五類 (16)	アメーバ赤痢	1	3	4	9	41
	ウイルス性肝炎	0	0	0	1	11
	内訳 B型	0	0	0	1	8
	内訳 その他	0	0	0	0	3
	急性脳炎	0	0	0	4	12
	クリプトスポリジウム症	1	0	1	1	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	1	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	1	7	14
	後天性免疫不全症候群	1	6	7	38	126
	内訳 無症候性キャリア	0	2	2	24	73
	内訳 AIDS	1	4	5	14	50
	内訳 その他	0	0	0	0	3
	ジアルジア症	0	0	0	1	4
	梅毒	1	1	2	14	44
	内訳 無症候	0	1	1	7	19
	内訳 早期顕症	0	0	0	5	21
	内訳 晩期顕症	1	0	1	2	4
	破傷風	0	0	0	2	7
	風しん	0	0	0	3	13
	麻しん	0	1	1	30	32
	総 計	103	76	179	721	2,605

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2012年4月			2012年 累計	2011年 総計
		愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	74	46	120	465	1,560
	性器ヘルペスウイルス感染症	33	27	60	232	632
	尖圭コンジローマ	13	11	24	117	344
	淋菌感染症	15	21	36	183	714
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染	96	11	107	476	1,411
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	20	2	22	44	155
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	4	9
	薬剤耐性アシネトバクター感染症*	0	0	0	0	1

\*2011年2月からの報告対象疾病

感染症の類型及び定義(感染症法)

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。鳥インフルエンザ(H5N1)が平成20年5月12日の法改正により従前の四類感染症鳥インフルエンザから除かれ、二類感染症に追加された。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起しうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (42疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (42疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。



